（様式第２号）

令和６年 10 月 31 日

SDGs 達成に向けた宣言書

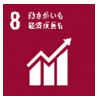
宣言者　所在地　秋田市川元開和町 4-7
名称　秋田三菱自動車販売株式会社
代表者　代表取締役社長　佐藤　功

秋田三菱自動車販売株式会社 は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

私たちは、電動車の普及を通じクリーンエネルギーと地域の環境に配慮したクルマ社会の実現を図るとともに、ドライブレコーダー普及推進により誰もが安心・安全に移動できるクルマ社会の実現を図ります。また、災害時に電動車を給電車両として被災地に供給する「災害時協力協定」を通じて、地方自治体とのパートナーシップ体制強化を進めることで、災害に強い、安全・強靭・持続可能な地域社会の実現に貢献する企業を目指します。

３側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況 初回登録年月日：R３年 10 月 29 日	関連する主な SDGs ゴール（最大３つ）
☑経済 □社会 ☑環境	電動車（PHEV・EV）の普及推進	販売台数に占める電動車の販売比率を増加させる（現状 4%→2030 年までに 50%）	販売比率 4%（R3 年 10 月時点）→14%（R6 年 10 月時点）に向上（数値は R4 年 10 月～R6 年９月末の累計販売台数に占める電動車比率）	7 13
☑経済 ☑社会 □環境	ドライブレコーダーの普及推進	ドライブレコーダー装着率向上（現状 6%→2030 年までに 50%） ※数値は当社取扱いドラレコ保険特約の加入比率	装着率 6%（R3 年 10 月時点）→11%（R6 年 10 月時点）に向上（当社取り扱いのドラレコ保険特約の加入比率）	9 11
□経済 ☑社会 □環境	災害時協力協定の締結推進	締結する自治体数 (現状８自治体→2025 年までに 14 自治体)	８自治体→12 自治体まで拡大（R6 年 10 月時点）	11 17

ゴール番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
１０	人や国の不平等をなくそう	
１１	住み続けられるまちづくりを	
１２	つくる責任、つかう責任	
１３	気候変動に具体的な対策を	
１４	海の豊かさを守ろう	
１５	陸の豊かさも守ろう	
１６	平和と公正をすべての人に	
１７	パートナーシップで目標を達成しよう	